

第2章 踏切道における交通の安全

第1節 踏切事故のない県都松江を目指して

全国的に踏切事故（鉄道の運転事故のうち、踏切障害及びこれに起因する列車事故をいう。）は長期的には減少しており、これは踏切道の改良等の安全対策の積極的な推進によるところが大きいと考えられます。

松江市における踏切事故は、第9次期間以降発生していませんが、踏切事故はひとたび発生すると、重大な結果をもたらすことから、引き続き踏切事故防止対策を総合的かつ積極的に推進し、踏切事故のない県都松江を目指します。

第2節 踏切道における交通の安全についての対策

I 今後の踏切道における交通安全対策を考える視点

踏切事故は、多数の死者を生ずるなど重大な結果をもたらすおそれがあります。

そのため、立体交差化、構造の改良、踏切保安設備の整備、交通規制、統廃合等の対策を実施すべき踏切道がなお残されている現状にあること、これらの対策が、同時に渋滞の軽減による交通の円滑化や環境保全にも寄与することを考慮し、高齢者等の歩行者対策、バリアフリー化等それぞれの踏切の状況等を勘案しつつ、より効果的な対策を総合的かつ積極的に推進します。

また、ICT 技術の発展やライフスタイルの変化等、社会を取り巻く環境の変化を見据え、更なる踏切道の安全性向上を目指し、対策を検討します。

II 踏切道における交通安全対策

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 踏切道の立体交差化、構造の改良及びバリアフリー化の促進2 踏切道の統廃合の促進3 踏切保安設備等の整備及び交通規制の実施4 その他踏切道の交通の安全と円滑化等を図るための措置 |
|--|

1 踏切道の立体交差化、構造の改良及びバリアフリー化の促進

主要な道路で交通量の多い踏切道等について、道路の新設・改築に当たっては、極力立体交差化を図り、歩道が狭隘な踏切については、踏切道内において歩行者と自動車等が錯綜することがないよう歩行者滞留防止や高齢者等が安全で円滑に通行するためのバリアフリー化等の対策を促進します。

2 踏切道の統廃合の促進

踏切道の構造の改良等の事業の実施に併せて、近接踏切道のうち、その利用状況、う回路の状況等を勘案して、地域住民の通行に特に支障を及ぼさないと認められるものについて、統廃合の促進を図ります。

3 踏切保安設備等の整備及び交通規制の実施

踏切遮断機の整備されていない踏切道について、踏切道の利用状況、踏切道の幅員、交通規制の実施状況等を勘案し、踏切遮断機の整備を行います。

自動車交通量の多い踏切道については、事故の発生状況等を勘案し、必要に応じ、障害物検知装置等、より事故防止効果の高い踏切保安設備の整備を関係機関と連携して取り組みます。

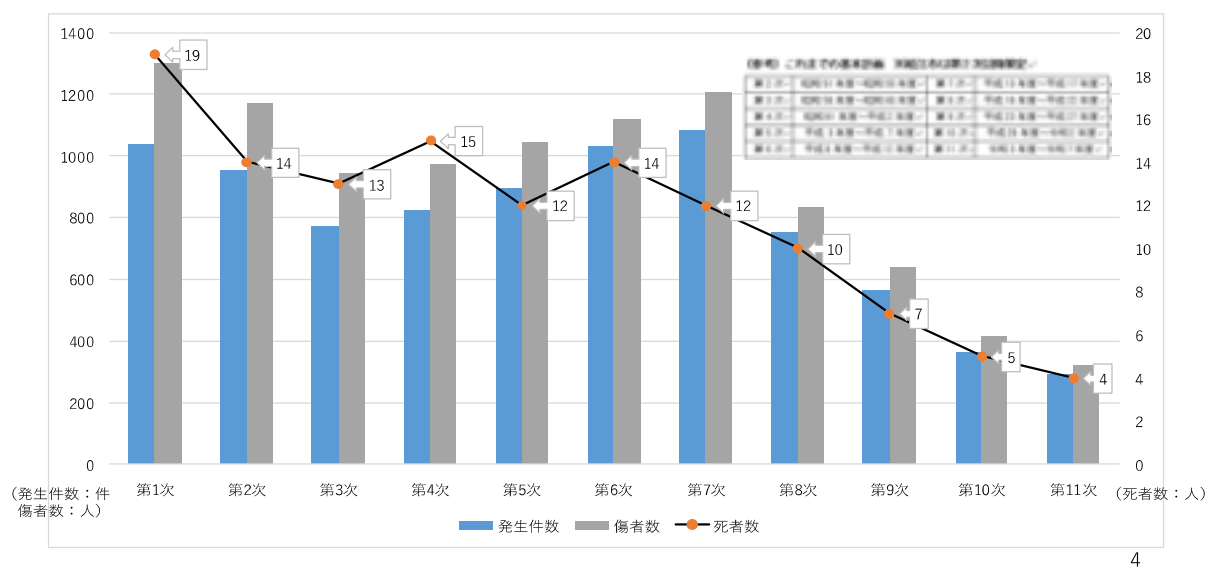
また、必要に応じ、自動車通行止め等の交通規制を実施します。

4 その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置

自動車運転者や歩行者等の踏切道通行者に対し、交通安全意識の向上及び踏切支障時における非常押ボタンの操作等の緊急措置の周知徹底を図るとともに、車両等の踏切通行時の違反行為に対する指導取締りを積極的に行います。

平常時の交通の安全及び円滑化等の対策に加え、災害時においても、踏切道の長時間遮断による救急・救命活動や緊急物資輸送における支障の発生等の課題に対応するため、関係者間で遮断時間に関する情報共有を図ります。

資料 1 松江市における各計画期間の平均値



資料 2 11 計画期間中の交通事故発生状況

暦 年	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
発生件数	235	301 (+28. 1%)	300 (-0. 3%)	302 (+0. 7%)	286 (-5. 3%)	272 (-4. 9%)
死者数	4	2	2	5	1	8
重傷者数	51	59 (+15. 7%)	51 (-13. 6%)	57 (+11. 8%)	43 (-24. 6%)	53 (+23. 3%)
軽傷者数	218	271	274	285	271	236
負傷者計	269	330	325	342	314	289
踏切道事故	0	0	0	0	0	0

注：（ ）内は前年比増減

資料 3 令和 7 年中の道路別発生状況

	国 道					地 方 道				高速道等		計
	9号	54号	431号	432号	485号	主要地方道	一般県道	市道	その他	高速	自専道	
令和2年	43	3	15	8	1	37	19	84	20	1	4	235
令和3年	49	1	23	18	1	51	17	110	25	0	6	301
令和4年	60	1	24	19	0	44	30	99	13	1	9	300
令和5年	60	0	22	8	0	54	25	101	21	0	11	302
令和6年	45	1	31	11	0	45	30	94	21	0	8	286
令和7年	50	1	23	11	0	35	22	104	18	0	8	272
平均	51.17	1.2	23.0	12.5	0.3	44.3	23.8	98.67	19.7	0.3	7.7	282.7

資料 4 令和 7 年中の道路形状別発生状況【除く、高速道路及び自動車専用道路】

	交 差 点		単 路				踏切	その他一般 交通の用に 供する場所	計
	信号機有	信号機無	交差点付近	トンネル	橋	その他			
令和2年	38	56	60	2	4	54	0	16	230
令和3年	55	62	68	0	12	79	0	19	295
令和4年	65	63	75	0	3	72	0	12	290
令和5年	62	59	53	1	6	89	0	21	291
令和6年	51	65	39	0	2	101	0	20	278
令和7年	59	53	38	1	2	96	0	15	264
平均	54.2	61.0	59.0	0.6	5.4	79.0	0.0	17.6	276.8

資料5 令和7年中の当事者別発生状況

	全事故			歩行者			自転車			二輪車			原付車(二輪車の内数)		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
令和2年	230	3	261	38	1	38	34	1	35	11	0	10	5	0	5
令和3年	295	2	323	49	1	50	45	0	45	20	1	16	14	1	10
令和4年	290	2	316	42	1	41	49	1	46	11	0	12	7	0	8
令和5年	291	5	328	40	1	41	51	1	49	14	2	12	7	0	6
令和6年	278	1	304	48	1	47	54	0	54	17	0	17	7	0	7
令和7年	264	8	280	44	5	40	49	0	46	14	0	14	8	0	8
平均	274.7	3.5	302.0	43.5	1.7	42.8	47.0	0.5	45.8	14.5	0.5	13.5	8.0	0.2	7.3

	子ども			高校生			高齢者(65才以上)			若年運転者		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
令和2年	6	0	14	5	0	6	99	3	61	49	0	34
令和3年	16	0	22	6	0	10	108	2	55	57	0	33
令和4年	11	0	14	7	0	7	114	2	56	52	0	46
令和5年	5	0	8	9	0	8	133	1	71	58	2	46
令和6年	14	0	21	10	0	11	99	1	54	51	0	63
令和7年	9	0	12	15	0	13	116	6	43	50	0	55
平均	10.2	0.0	15.2	8.7	0.0	9.2	111.5	2.5	56.7	52.8	0.3	46.2

※若年運転者とは、16歳から24歳までの
原付以上の運転者をいう
※関与した件数である

資料 6 令和 7 年現在の運転免許保有者数

		20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	計
令和2年	男	908	8,578	10,224	13,344	11,901	5,811	19,964	70,730
	女	702	7,933	10,109	13,190	12,181	5,694	14,470	64,279
	計	1,610	16,511	20,333	26,534	24,082	11,505	34,434	135,009
令和3年	男	886	8,550	9,982	13,093	12,084	5,838	20,093	70,526
	女	679	7,855	9,826	12,978	12,313	5,662	15,045	64,358
	計	1,565	16,405	19,808	26,071	24,397	11,500	35,138	134,884
令和4年	男	839	8,480	9,744	12,740	12,302	5,780	20,283	70,168
	女	627	7,799	9,617	12,581	12,526	5,703	15,579	64,432
	計	1,466	16,279	19,361	25,321	24,828	11,483	35,862	134,600
令和5年		1,667	15,769	18,758	24,392	25,387	11,577	37,124	134,674
令和6年		1,331	15,630	18,235	23,910	25,796	11,546	37,288	133,736
令和7年		1,347	15,319	17,730	23,228	26,111	11,561	37,861	133,157

※令和5年からシステムの改修により男女別の集計ができなくなったもの

資料 7 令和 7 年現在の自動車保有台数

	貨 物			乗 合		乗 用		特殊・大型		軽 自 動 車			二 輪 車			原付車		小特	合 計
	普通	小型	被牽引	普通	小型	普通	小型	特殊	大型	貨物	乗用	特種	251 以上	126-250	51-125cc	一般 50cc-	特定 小型		
令和 2年	3,326	5,247	38	212	206	29,721	38,391	2,138	354	16,582	53,224	334	1,878	1,480	1,546	5,302		1,901	161,880
	8,611			418		68,112		2,492		70,140			4,904						
令和 3年	3,310	5,255	43	205	220	30,482	37,355	2,147	359	16,927	54,124	345	2,009	1,614	1,682	4,697		1,986	162,760
	8,608			425		67,837		2,506		71,396			5,305						
令和 4年	3,323	5,270	39	201	211	31,390	36,456	2,178	359	17,964	55,144	331	1,999	1,662	1,660	4,396		1,980	164,563
	8,632			412		67,846		2,537		73,439			5,321						
令和 5年	3,303	5,253	39	195	214	32,340	35,241	2,181	355	17,930	55,524	316	2,066	1,656	1,649	4,309	9	1,972	164,552
	8,595			409		67,581		2,536		73,770			5,371			4,318			
令和 6年	3,258	5,189	42	195	214	33,152	34,068	1,810	360	17,961	55,916	322	2,078	1,683	1,822	3,872	33	1,967	163,942
	8,489			409		67,220		2,170		74,199			5,583			3,905			
令和 7年	3,222	5,182	43	200	228	33,719	33,139	1,825	354	17,989	56,152	337	2,072	1,724	1,854	3,714	61	1,981	163,796
	8,447			428		66,858		2,179		74,478			5,650			3,775			

資料 8 令和 7 年の全国県庁所在地の全事故件数死傷者数

県名	県庁所在地	発生件数	人口10万人当たり		死者数	人口10万人当たり		死傷者数	人口10万人当たり	
			件数	順位		死者数	順位		死傷者数	順位
北海道	札幌市	4,291	219.3	28	20	1.02	9	4,980	254.5	29
青森	青森市	602	225.0	33	7	2.62	38	698	260.9	33
岩手	盛岡市	527	188.0	17	8	2.85	43	635	226.6	22
宮城	仙台市	1,902	178.4	14	11	1.03	10	2,277	213.5	16
秋田	秋田市	499	167.8	11	8	2.69	39	586	197.1	11
山形	山形市	611	256.4	35	2	0.84	4	673	282.4	36
福島	福島市	457	170.6	13	6	2.24	36	529	197.4	12
東京	東京23区	21,030	218.1	27	86	0.89	5	23,163	240.2	26
茨城	水戸市	737	274.1	37	13	4.84	47	924	343.7	39
栃木	宇都宮市	1,150	222.9	30	3	0.58	1	1,322	256.3	31
群馬	前橋市	1,876	568.7	47	5	1.52	23	2,295	695.7	47
埼玉	さいたま市	2,531	188.2	18	13	0.97	7	2,888	214.7	17
千葉	千葉市	2,122	216.8	26	17	1.74	30	2,504	255.8	30
神奈川	横浜市	7,274	193.8	21	42	1.12	13	8,233	219.4	20
新潟	新潟市	1,092	142.3	4	8	1.04	11	1,226	159.7	3
山梨	甲府市	684	370.1	44	6	3.25	45	795	430.1	44
長野	長野市	805	220.2	29	10	2.74	41	956	261.5	34
静岡	静岡市	3,135	462.6	46	11	1.62	27	3,728	550.1	46
富山	富山市	907	223.1	31	4	0.98	8	1,032	253.9	28
石川	金沢市	936	210.3	25	5	1.12	13	1,047	235.3	24
福井	福井市	431	168.4	12	7	2.73	40	467	182.5	6
岐阜	岐阜市	789	196.8	22	7	1.75	31	967	241.2	27
愛知	名古屋市	8,341	363.0	43	27	1.18	15	9,694	421.9	43
三重	津市	419	154.6	6	3	1.11	12	491	181.2	5
滋賀	大津市	618	179.7	15	10	2.91	44	739	214.9	18
京都	京都市	2,281	165.3	9	22	1.59	26	2,559	185.5	8
大阪	大阪市	7,849	284.6	38	43	1.56	25	8,959	324.9	38
兵庫	神戸市	3,959	263.9	36	25	1.67	28	4,641	309.3	37
奈良	奈良市	708	202.6	24	5	1.43	22	820	234.7	23
和歌山	和歌山市	593	166.4	10	5	1.40	21	682	191.3	10
鳥取	鳥取市	177	97.7	1	5	2.76	42	206	113.7	1
島根	松江市	264	134.7	3	8	4.08	46	288	146.9	2
岡山	岡山市	2,155	308.4	39	9	1.29	17	2,477	354.5	40
広島	広島市	1,914	162.4	8	18	1.53	24	2,228	189.0	9
山口	山口市	250	133.3	2	5	2.02	34	547	221.5	21
徳島	徳島市	865	350.2	42	2	0.81	3	996	403.3	42
香川	高松市	1,426	339.7	41	7	1.67	28	1,035	206.9	14
愛媛	松山市	950	189.9	20	10	2.00	33	1,035	206.9	14
高知	高知市	470	148.5	5	4	1.26	16	520	164.3	4
福岡	福岡市	5,001	313.8	40	21	1.32	18	5,985	375.5	41
佐賀	佐賀市	866	379.8	45	3	1.32	18	1,086	476.2	45
長崎	長崎市	712	179.9	16	3	0.76	2	866	218.8	19
熊本	熊本市	1,471	201.0	23	10	1.37	20	1,726	235.9	25
大分	大分市	1,060	223.3	32	10	2.11	35	1,275	268.6	35
宮崎	宮崎市	939	236.3	34	9	2.26	37	1,024	257.7	32
鹿児島	鹿児島市	1,122	188.6	19	11	1.85	32	1,210	203.3	13
沖縄	那覇市	498	157.9	7	3	0.95	6	582	184.5	7

注 人口10万人当たりの死者数の算出には、総務省自治行政局編「住民基本台帳人口要覧」による令和6年1月1日現在数を用いた。
高速道路における事故件数は含んでない

資料 9

松江市内踏切種別数（１種～４種）

	１種踏切	３種踏切	４種踏切	総計
JR	43	0	1	44
一畑電鉄	22	2	8	32
計	65	2	9	76

松江市内踏切事故件数

令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
0	0	0	0	0

注：踏切種別

第１種踏切・・・遮断機及び警報機が設置されているもの

第２種踏切・・・一部の時間帯のみ踏切保安係が遮断機を開閉するものであり、現在は設置なし

第３種踏切・・・警報機が設置されているもの

第４種踏切・・・遮断機及び警報機が設置されていないもの